

「国公立大コンソーシアム・福岡」結成

〔概要〕

福岡工業大学（代表校）、九州大学、福岡女子大学、西南学院大学の4大学が、大学院修士レベルで、環境・エネルギー問題をテーマとしたコンソーシアムを形成する取組みが、文部科学省の大学教育改革支援の一つである「戦略的大学連携支援事業」に採択されました。この採択により、本日、4大学は「国公立大コンソーシアム・福岡」の結成に関する協定を締結致しました。

なお、この支援事業は、各大学の教育研究資源を有効活用することにより、地域における「知の拠点」として、教育研究水準の一層の高度化等をめざそうとするものです。

■背景

環境・エネルギー問題の解決は喫緊のテーマであり、具体的な対策が各自治体や地域レベルで活発に行われています。一方、経済発展が著しいアジアでは経済発展と環境・エネルギー問題との調和的解決の道筋が見出されていません。このような状況の中、アジアの玄関口である福岡市臨海部に位置する国公立4大学には、その知見を統合し、地域やアジアとの結びつきを更に強めることで、環境・エネルギー問題の解決への知的かつ具体的な貢献を果たすことが求められています。

■内容（添付図参照）

コンソーシアムでは、高度環境人材（環境・エネルギー問題や地域経済の振興課題に主導的、総合的に取り組むことのできる人材）の育成に努めるとともに、地域が抱える課題を中心に共同研究を推進し、その成果を積極的に還元していきます。

具体的には、来年度には4大学間を遠隔授業システムで結んだ単位互換（コンソーシアムプログラム）を実施、それぞれの大学で居ながらにして他大学の講義を受講できる仕組みを整えます。このプログラムは、先々の4大学共同による大学院研究科の開設の基礎ともなるものです。

また、これまでの研究成果や今後の共同研究での成果等を体系化し、広く地域社会で活用されることを企図した環境・エネルギーデータベースを構築するとともに、公開講座や地元自治体との共催による双方向型セミナー、企業や環境保護団体へのコンサルティング、東アジアからの留学生の受入れ、東京サテライトの開設等、コンソーシアムならではのアクティビティを向上させながら社会貢献を果たしてまいります。

■効果

国公立に亘る4大学の連携であり、学生、教職員にとっては「異文化交流」の趣があり、その学問的意欲や向上心を大きく刺激するとともに相乗効果による成果が期待できます。また、人材の輩出、成果の還元等による地元自治体の政策目標の実現や、地域経済の活性化等への寄与が期待できます。さらには、各校の国際交流関係や留学生の受入れ等を通じた、アジア諸国の環境・エネルギー政策への貢献が可能となります。

以上

【お問い合わせ先】

九州工業大学広報課（代表校）

電話：092-606-0607

九州大学企画部研究戦略課

電話：092-642-2126

H20年度戦略的大学連携支援事業選定

「国公立大コンソーシアム・福岡— 地域からアジアへ、環境・エネルギー問題に挑む—」

代表校: 福岡工業大学

連携校: 九州大学、福岡女子大学、
西南学院大学

(取組概要)

この取組は、地球規模のテーマである環境・エネルギー問題の解決に寄与するために、福岡市臨海部に位置する設置形態の異なる4大学が、大学院修士課程レベルで国公立大コンソーシアムを形成するものです。

コンソーシアムでは福岡からアジアを見据えつつ、**高度環境人材**(環境・エネルギー問題や地域経済の振興課題に主導的、総合的に取り組むことのできる人材)の育成に努めるとともに、地域が抱える課題を中心に**共同研究**を推進し、その成果を積極的に還元してまいります。また、広く地域社会で活用されることを企図した**環境・エネルギーデータベース**を構築するとともに、公開講座や地元自治体との共催による双方向型セミナー、企業や環境保護団体へのコンサルティング等を実施することにより**地域貢献**を果たしてまいりたいと考えています。

コンソーシアムではこれらの成果をベースに、将来的には**共同大学院の設置**を視野に入れています。

